

### 世界最高の賞金額を誇る競馬レース

2月24日、25日の2日間にわたり、第4回となるサウジカップがリヤドのキング・アブドゥルアジーズ競馬場で開催された。2020年に初めて開催された本イベントはサウジアラビアジョッキークラブが主催しており、今年は日本や米国をはじめとする計15ヶ国から、世界最高峰の競走馬と騎手が出場した。最終レースである「THE SAUDI CUP」は賞金総額2,000万米ドル（約27億2,000万円、1ドル＝約136円）の世界最高賞金レースとなっており、ドバイワールドカップ（賞金総額1,200万米ドル）や凱旋門賞（賞金総額500万ユーロ）と比較してもかなり高額である。

今年は、日本調教馬のパンサラッサが勝利し、賞金1,000万米ドル（約13億6,000万円、1ドル＝約136円）を獲得した。

サウジアラビアでは賭博が禁止されているため、競馬も日本のような馬券はなく、競走馬による競争のみ行われ、賞金は政府やスポンサー企業などによる提供にて賄われている。また来場者はファッションを意識した装いをしており、現代風にアレンジした民族衣装を身にまとうサウジアラビア人や自国の伝統衣装を着て参加する外国人の姿も見られた。本イベントは、サウジアラビア政府が掲げる国家改革「ビジョン2030」のうち産業の多角化や観光促進、Quality of Lifeに貢献している。

### サウジアラビア人とアラブ馬の繋がり

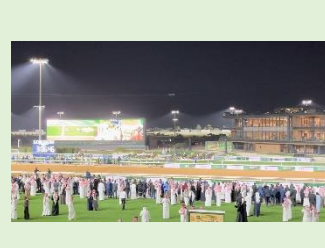
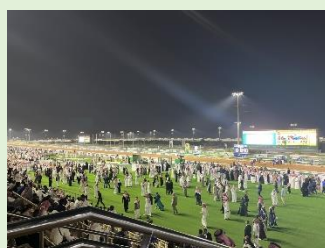
サウジアラビア人は元々アラビア砂漠のベドウィンと呼ばれる遊牧民であり、小柄だがスピードと機動力に優れたアラブ馬を戦闘や荷物の運搬などに使用していた。砂漠で長い間一緒に暮らしてきたため、サウジアラビア人は馬に対して深い仲間意識を抱いているようだ。

アラブ馬はその特性から競馬をはじめとする様々な馬術競技にも長けている。競馬のサラブレッドは、アラブ種等を元にイギリスやその他の在来馬と掛け合わせて競走用に改良された品種であり、現代競馬では主流な品種となっている。（2023年3月）

<キング・アブドゥルアジーズ競馬場>



<レースに熱中するサウジアラビア人>



（日・サウジ・ビジョンオフィス撮影）

<アラブ馬>



（ARAB NEWS より写真引用）

### お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Building, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: [infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp](mailto:infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp)

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>